学校番号	219

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高校音楽Ⅱ改訂版「Music View」（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰの内容を更に発展させて「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を創作すること」「音楽を鑑賞すること」の 4 つの分野を年間通して学びます。日本の音楽伝統文化を学ぶ機会として箏や三線にも取り組みます。
・授業では教科書、ファイル、筆記用具、リコーダーやオカリナ等の指示した楽器を持参してください。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートの内容、実技テスト、個人やグループで取り組む課題やレポートにより評価します。個人の技術や知識を高めるとともに、グループでの協同作業を行いながらコミュニケーション能力を養い、感性を磨き、自分らしい音楽の表現力と聴く力、音楽の良さを理解できる力を身に付けます。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート グループ発表	観察 ワークシート 実技テスト グループ発表	観察 実技テスト 小テスト(筆記・実技) グループ発表	観察 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	イメージをもって豊かな歌声で歌おう！	【歌唱】 ◆声のウォーミングアップ曲 ①365 日の紙飛行機 ②糸 ③にじいろ ◆アカペラにチャレンジ ①ほたるこい	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、のびのびとした声で歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素や楽曲の背景を知覚し、それらの働きが生み出す曲想を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c:音楽表現をするために必要な発声、呼吸法などを身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート
	楽器の世界～オカリナに挑戦～	【器楽】オカリナ ①音階練習曲 ②ジブリ・ディズニーの楽曲 【鑑賞】 オカリナの楽曲	○	○	○	○	a:アンサンブルに関心をもち、その特徴を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:原曲の音色やフレーズを考えて演奏できる。 c:楽譜を正しく読み取り、自分一人で音として再現でき、曲想に合わせた表現ができる。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、これらの価値を考え、音楽の理解を深め、良さや美しさを主体的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 実技テスト レポート
	リズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】 ①クラッピング・カルテット	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その特徴を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽曲のリズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受している。 c:リズム譜を正しく読み取り、自分一人で音として再現でき、曲想に合わせた表現ができる。	観察 ワークシート 実技テスト

2	音楽に込められた思いを声で表現しよう	【歌唱】(独唱・合唱) ①落葉松 ②An die Musik ③手を取りあって ④愛の讃歌	○	○	○		a:ドイツ語や諸外国の言葉の特性を味わって、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりを感じ取りながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:ジャンルの違いによる発声法や音楽表現の多様性を味わうとともに、曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現を工夫することができる。 c:豊かな音楽表現をするために必要な発声、呼吸法などを身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート
	楽器の世界～ギター弾き語り・三線に挑戦～	【器楽・楽典】 コードについて仕組みを知る ①コード練習曲 ②糸 ③なごり雪 【器楽】三線 ①さとうきび畑 ②涙そうそう	○	○	○		a:他者と協力して支え合い、アンサンブルの良さを演奏する学習に仲間とともに主体的に取り組もうとしている。 b:楽器の音色や奏法の関わりについて知覚し、表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	観察 ワークシート 実技テスト 小テスト(筆記)
3	自由研究発表(クラスコンサート)	【歌唱】 ミュージカルに挑戦 ①レ・ミゼラブル 【器楽・創作】 グループアンサンブル(器楽合奏) ①音楽Ⅰ・音楽Ⅱの既習曲	○	○	○	○	a:ミュージカルや器楽合奏に関心をもち、グループで協力しながら課題に積極的に取り組んでいる。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:複雑なリズムを自力で譜読みして正しく音に再現することができ、曲想に合わせた表現ができる。 d:各自が選択した楽曲について、各曲の諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、これらの価値を考え、音楽の理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート グループ発表 レポート

曲目は生徒の実態に合わせて変更する場合があります。